

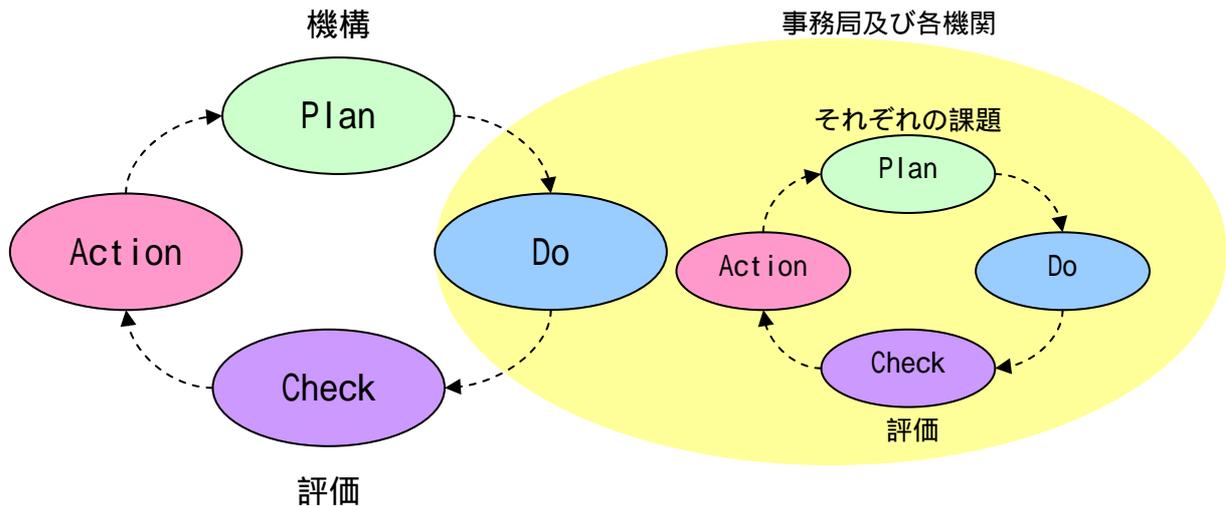
# 環境マネジメント

平成18年2月27日  
自然科学研究機構

## 考え方

自然科学研究機構の環境保全活動は、「役員会」及び「機構会議」で審議された環境保全活動方針を踏まえ、事務局及び各機関で実行へ移されます。その中で「PDCA」サイクルを回すことで、より効果を上げていく仕組みとなっています。

また、環境配慮の活動結果を、評価し、次年度以降の目標へと反映していきます。



## 体制

「自然科学研究機構における環境配慮の促進に関する規程」に基づき、環境に関する各責任者を設置しています。環境戦略や環境目標は、最高環境責任者と総括環境責任者を含む役員会及び機構会議で審議されます。最高環境責任者の決定事項は、総括環境責任者を通じて事務局及び各機関へ伝達され、環境配慮の活動が推進されます。

